

教科	農業	科目	総合実習Ⅱ	単位数	2単位	学年	2年	コース	E・L全
使用教科書	なし			使用副教材等	アグリノート・実習記録簿				

目標	農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得することを目指します。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業に関する基本的な知識や技術を身につけ、課題解決に役立てることができる。また実習の中で得た知識や技術を実習記録簿を詳細に記入することができる。	実習の意義や役割を把握し、自分なりの課題を設定し、課題解決のために取り組み、的確に判断し対処することができる。また、課題解決に向けて構想し、実践した結果について実習記録簿に考察した内容を表現することができる。	一緒に作業する生徒、教員と協働し、課題解決に向けて主体的に取り組み、実習前後の準備や片付けにおいても積極的に取り組もうとする姿勢をもって
評価方法	・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動に移すことができるか) ・実習記録簿 (知識・技術に関する記述)	・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) ・実習記録簿 (自分なりの考察について適切に表現できているか)	・実習状況の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか) ・実習記録簿 (振り返りや改善策を考え、今後の実習で実践していく姿勢がみられるか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への遅刻・欠席については事前に必ず連絡を入れること。 ・実習時間前までに、必ず爪を切っておくこと。 ・髪が肩にかかる生徒はゴムでまとめること。 ・毎実習後、必ず実習記録簿を記入すること。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	3 5 7	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「総合実習Ⅰ」、「草花・果樹・野菜」で学んだ知識・技術を活用し、実習にあたる ・各担当に分かれての実習を行い、その場に合った自分の役割を見出す ・冬作～春夏作への転換期を経て、季節的な作業の流れを把握する (春休み・放課後) <p>《主な実習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花(春夏用花苗の栽培管理、ニューギニアインパチェンス出荷調整・販売、花壇整備等) ・果樹(ブドウ・ブルーベリー・クリ・カンキツ類の栽培管理、収穫・加工、販売) ・野菜(トマト・メロン・スイカの栽培管理、収穫・販売等) 	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や放課後、長期休業中であっても農場は休まず日々育つものがあり、誰かが手をかけなければいけないという大前提を理解している ・基礎的な農機具の名称と使用方法を理解し、正しく使用することができる ・一般管理作業に関する基礎的な知識・技術について理解し、実践することができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し、自分の役割を理解し、考えながら行動することができる ・自分の役割を理解し、状況判断しながら動くことができる ・実習記録簿に、自分なりの考察・気づきを記入できている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力しながら作業に取り組むことができる ・作業内容に関わらず、最後まで粘り強く取り組むことができる ・実習記録簿に、今後の実習に対する自分なりの課題や展望を記入することができる
	8 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「総合実習Ⅰ」、「草花・果樹・野菜」で学んだ知識・技術を活用し、実習にあたる ・各担当に分かれての実習を行い、その場に合った自分の役割を見出す ・春夏作～秋冬作への転換期を経て、季節的な作業の流れを把握する (夏休み・放課後) <p>《主な実習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花(シクラメンの鉢替え・葉組・出荷調整・販売、花壇整備等) ・果樹(ブドウ・ブルーベリー・クリ、カンキツ類の栽培管理、収穫・加工、販売) ・野菜(野菜類の次作の準備、メロン・トマト・イチゴ・葉物野菜の栽培管理、JGAP活動) 	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や放課後、長期休業中であっても農場は休まず日々育つものがあり、誰かが手をかけなければいけないという大前提を理解している ・基礎的な農機具の名称と使用方法を理解し、正しく使用することができる ・一般管理作業に関する基礎的な知識・技術について理解し、実践することができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し、自分の役割を理解し、考えながら行動することができる ・自分の役割を理解し、状況判断しながら動くことができる ・実習記録簿に、自分なりの考察・気づきを記入できている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力しながら作業に取り組むことができる ・作業内容に関わらず、最後まで粘り強く取り組むことができる ・実習記録簿に、今後の実習に対する自分なりの課題や展望を記入することができる

3	<p>・科目「総合実習Ⅰ」、「草花・果樹・野菜」で学んだ知識・技術を活用し、実習にあたる</p> <p>・各担当に分かれての実習を行い、その場に応じた自分の役割を見出す</p> <p>・秋冬作～春作への転換期を経て、季節的な作業の流れを把握する (冬休み・放課後)</p> <p>《主な実習内容》</p> <p>1 草花(シクラメンの出荷調整・販売、ニューギニアインパチェンスの出荷調整・販売、花壇整備など)</p> <p>2</p> <p>3 果樹(剪定作業、土づくり、次作へむけた準備)</p> <p>野菜(メロン・トマト・イチゴ・葉物野菜の栽培管理、JGAP活動、次作の準備)</p>	<p>【知識・技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や放課後、長期休業中であっても農場は休まず日々育つものがあり、誰かが手をかけなければいけないという大前提を理解している ・基礎基本的な農機具の名称と使用方法を理解し、正しく使用することができる ・一般管理作業に関する基礎的な知識・技術について理解し、実践することができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し、自分の役割を理解し、考えながら行動することができる ・自分の役割を理解し、状況判断しながら動くことができる ・GAP手法に基づいて、片付けや整理整頓ができる ・実習記録簿に、自分なりの考察・気づきを記入できている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力しながら作業に取り組むことができる ・作業内容に関わらず、最後まで粘り強く取り組むことができる ・実習記録簿に、今後の実習に対する自分なりの課題や展望を記入することができる
---	---	--